

経済学研究科博士課程前期課程 修士論文について

1. 修士論文提出者

- (1) 修士論文は本研究科前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得した者、または修得する見込みの者（在学4学期目以降の者）が提出することを認める。
- (2) 演習特別指導2の単位を修得した3年次以上の者（在学5学期目以降の者）が修士論文を提出する場合、「演習追加指導2」（秋学期開講科目）を履修中であること。
- (3) 3年次以上の者（在学5学期目以降の者）が修士論文を提出する場合、学位論文審査手数料規則第2条第2項を参照のこと。
- (4) 休学中の場合は、当該年度の論文提出を認めない。

2. 提出期間・提出方法

〈修士論文の提出期間・提出方法〉

2027年1月8日(金)9:00～2027年1月14日(木)15:00

上記期間に、PDF/A形式の1ファイルにまとめ、Canvas LMSの「修士論文提出用コース」から提出すること。

- (1) 経済学研究科博士課程後期課程を受験し、1次試験に合格した場合、提出された論文をもって博士課程後期課程の2次審査と修士学位論文の最終試験を兼ねる。
- (2) Canvas LMSの「修士論文提出用コース」から提出すること。
*データの破損等について大学は一切責任を負わないので、提出の際は十分注意すること
- (3) 提出にあたっては、【修士論文のWeb提出について】の注意事項をよく確認すること
（【修士論文のWeb提出について】は、確定次第公開します）。

3. 提出の様式

(1) 提出方法

Word等を使用して作成し、A4サイズ（一枚1000字程度）のPDF/A形式で保存したデータファイルを、「Canvas LMS」の「修士論文提出用コース」にアップロードして提出すること。PDF/A形式の保存方法は下記URL参照。

重要 RIKKYO PORTAL 掲載 Web ページ「文書をPDF/A形式で保存する」

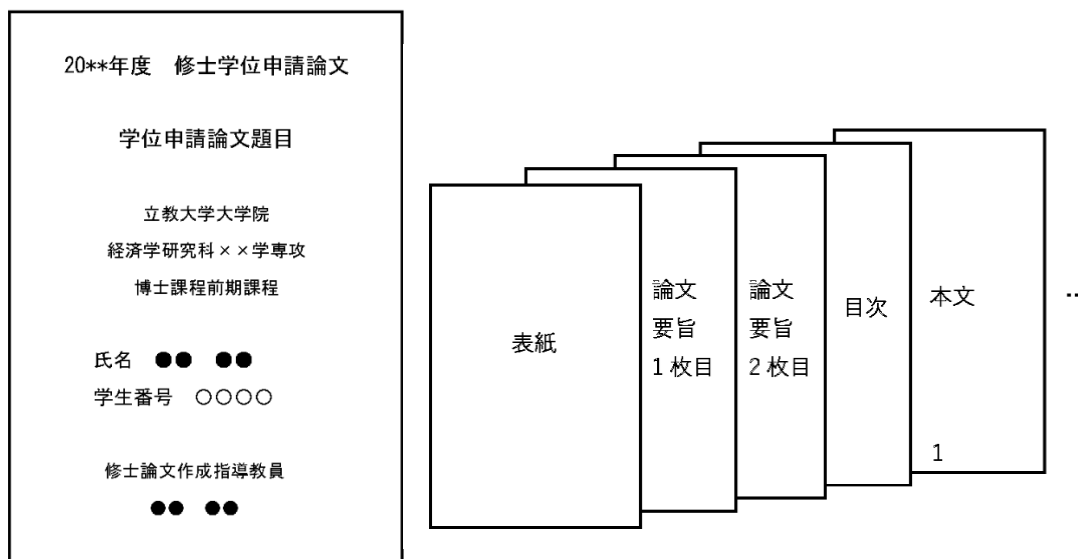
<https://portal.rikkyo.ac.jp/mc/faq/list-04>

(2) 提出するデータについて

表紙・論文要旨・目次・本文（図表・参考文献などを含む）をすべて一つに結合した PDF/A 形式ファイルで提出すること。

◆イメージ図

(表紙)



*表紙には、提出年度、論文題目、所属(研究科名・専攻名・課程名)、氏名、学生番号、修士論文作成指導教員の氏名（副指導教員は記載不要）を明記すること。

*論文要旨は、2000 字程度（A4 サイズ 2 枚程度）で作成すること。

*保存する際のファイル名は半角の学生番号と全角の氏名にし、あいだにスペースなどは入れないこと。（例：「XXYY001X 立教太郎（修士論文）」）

(3) 図表などの作成にあたって

- Excel で作成した表などを Word に貼り付ける場合、「図」として貼り付けるとレイアウトが崩れない。
「貼り付け」→「形式を選択して貼り付け」で、「ワークシートオブジェクト」や「図（拡張メタファイル）」などを選択して貼り付ける。
- 紙データしかないものを資料として使う場合、スキャナで読み込み、「JPG」や「GIF」ファイルとして出力し、「挿入」→「図」でワードに貼り付ける。
- 図として貼り付けたものは、オブジェクトを選択し右クリックで「図の書式設定」を選択すると、図のサイズが変更できる。

(4) その他の注意事項

提出する PDF/A 形式ファイルに指導教員、副指導教員の承認印等は必要ない。

4. 論文提出に際しての注意

*修士論文は、指定された提出方法、提出期間以外では、理由の如何にかかわらず受理しないので、日程・時間を厳守すること。提出にあたっては、十分な時間的余裕をもって臨むこと。

*提出にあたっては、提出する PDF/A 形式ファイルに表紙・論文要旨・目次・本文がすべて記載されているかを十分に確認すること。

*PDF/A 形式ファイルは研究科で保管するとともに、氏名・題目・論文要旨を『立教経済学研究』に掲載する。

*提出された修士論文および論文要旨の修正は原則として認めない。ただし、内容に関わらない技術的修正を主査および副査より求められた場合は、所定の期日（最終試験終了後 1 週間以内）までに修正を施し、指導教員に再提出すること。なお、提出者（大学院生）の判断で技術的修正を行うことはできない。詳細は研究科より指示する。

*履修要項「レポート・論文等の提出に際しての注意」を参照すること。

5. 修士学位審査最終試験

- (1) 最終試験は修士論文を提出した者について、修士論文作成指導教員の他 2 名よりなる審査委員会において行う。審査委員会は修士の学位授与の可否について審査し、研究科委員会に報告する。
- (2) 研究科委員会は、修士の学位の授与を議決し、総長に報告する。
- (3) 修士学位審査最終試験は 1 月下旬～2 月上旬に行う。日時の詳細は 1 月中旬に WEB 掲示板に発表する。

6. 修士学位論文審査基準

論文審査は次の基準にもとづいて行う。

- 1 研究テーマが明確で独創性があること
- 2 研究内容と方法が適切であること
- 3 論文構成が適切で、論旨展開が論理的で明晰であること
- 4 使用する文献・史資料の引証が明確で適切であること
- 5 研究倫理に十分に配慮し、「立教大学研究活動行動規範」を遵守していること
- 6 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること

修士論文の科目ナンバリングは「ECX5063」で示す。

以 上